

令和 6 (2024) 年度 経営健全化方針に基づく取組状況

1 基本情報

所管部署：産業振興部商業観光課

名称	株式会社 柏崎ショッピングモール 代表取締役社長 吉田 直一郎				
所在地	新潟県柏崎市東本町一丁目15-5	電話番号	0257-20-0011		
		ホームページ	http://www.fonjie.com		
設立年月日	平成9(1997)年 8月22日				
事業内容	ショッピングモールの管理運営				
資本金	40,000 千円	市出資(出捐)金	10,000 千円	市出資割合	25.0%

2 経営健全化方針を策定した理由

・平成29(2017)年度決算で債務超過額が132,073千円発生したため、経営健全化方針を策定した。

3 財政的リスクの状況

(決算状況)

単位：千円

	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度
債務超過額(千円)	198,978	147,656	171,341	190,291	207,880

4 主な取組状況(令和7(2025)年3月現在)

【法人自らによる経営健全化のための具体的対応】

令和5(2023)年10月に地下1階にあった核テナントが撤退し、その後も後継テナントが決まっていないため、厳しい経営状況に変わりはないが、引き続きテナント誘致に取り組む。
年間販促を計画どおり実施した。フォンジェマルシェを実施したほか、柏崎観光協会主催のイベントを開催するなど地下の空きスペースを活用し、集客を図った。
修繕の費用を捻出するため、令和7(2025)年4月から共益費の徴収を行うことを決定し、各テナントへの説明会と契約を実施した。
役員報酬返上等による経費削減を実行することで、経営の改善を図り、資金の確保に努めた。当期純利益はマイナスのままだが、前期と比較し1,361千円回復した。

【市が行った財政的リスクへの対処のための対応】

毎月の役員会に出席するなど当該法人の経営状況について適宜情報共有を図った。

5 法人の財務状況

(決算状況)

(貸借対照表から)

単位：千円

項目	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度
総資産額	792,406	777,744	757,965	740,001	709,644
(うち現預金)	12,801	10,525	7,121	6,846	6,175
(うち売上債権)	11,999	12,078	14,248	11,943	11,357
(うち棚卸資産)	34	37	64	7	0
負債総額	991,384	925,400	929,306	930,292	917,524
(うち市からの借入金)	0	0	0	0	0
純資産総額	△ 198,978	△ 147,656	△ 171,341	△ 190,291	△ 207,880

(損益計算書から)

単位：千円

項目	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度
経常収益	148,678	152,445	162,403	143,104	138,168
経常費用	165,560	164,966	185,909	161,873	155,578
経常損益	△ 16,882	△ 12,521	△ 23,506	△ 18,770	△ 17,410
経常外損益	△ 180	63,843	△ 180	△ 180	△ 180
当期純損益	△ 17,062	51,322	△ 23,686	△ 18,950	△ 17,590

6 外部有識者の意見

前期に中核テナントが撤退してしまったことで、事業存続において甚大なる影響が発生し、それが今期にも継続したままである中で、キッズマジックの増床などの取組も実行されたものの、真に有効な打ち手策を講じることができないでいる状況である。
経常収益も更に減収となる中で、コストバランスを取りながら最終的な当期純損益は、前期対比で若干の良化となっているが、役員報酬返上等のコスト削減による賜物であり、本来的に持続可能な経営が実現されているとは言えないものと理解している。
最終的に建物としての本質的な耐久年数との見合いにはなるが、事業継続する中でマイナスであったとしても損益の最大化ラインの見極めは、経済合理性の観点では非常に重要な論点になるので、しっかりとした検討・判断を期待している。